



「どんど」とは、悪疫を防ぐため村の入口に立て始まったと言われ、全国的にも各地で見られる行事です。
お正月飾りやお札、書初めなどをどんどで焚き上げ、この火でお餅を焼き無病息災を祈ります。

地域文化振興部では、毎年1月に美旗中村どんど保存会さんにご協力をいただき、地域の子もたちとどんどを立て、翌日に点火をしています。点火時は、お餅とぜんざいのふるまいも行い、約200名の地域住民の参加があります。

どんどは、世代間交流・伝統継承の一助となる大切な新春の伝統行事です。



地域の子もたちと一緒に、半日かけてどんどを立てます。昨年度のどんどの高さは約15メートルでした。

どんどの火で焼いたお餅を食べると、一年間風邪をひかないと言われています。



どんど立ての映像はこちら



地縁法人美旗まちづくり協議会

ふるさと美旗を「住民の活力で安全で安心な住みやすいまち」にするために、8つの部で事業を行っています。
今回は地域文化振興部と児童育成部の取組を紹介します。

MJクラブ(みはた児童育成クラブ) ～子どもたちのやりたいを応援します！～



「やりたい！」を話し合います



子どもたちで企画・準備をします



自分たちで運営します



美旗のキャラクター
なかじろう



MJクラブ(みはた児童育成クラブ)とは、子どもたちが主体的にやりたいことを考え実現するクラブです。令和5年にスタートし、現在小学校2年生から6年生までの23名が在籍しています。子どもたちに『美旗って良いな』『美旗って楽しいやん』と感じてもらえるようなまちづくりを目指しています。